

令和元年度

竹原市男女共同参画推進協議会
委員からの質問等の概要

《 委員からの質問 》

竹原市の男女共同参画に関する年次報告

【地域づくり課】

第1部 竹原市の男女共同参画施策の実施状況 令和元年度の主な取組

p 9

3 若年層へのDV予防教育の実施

質 問

①予防教室開催にあたり、アンケート実施をしていけば特徴的な意見などをお知らせください。

(回答)

生徒たちのアンケートでは、話の内容については「理解できた」、授業については「良かった」と回答した生徒がほとんどでした。

また、「今日話を聞いて、自分の周りで暴力があると感じましたか?」という問いに対しては「感じた」が25%、「感じない」が36%、「わからない」が39%でした。

特徴的な意見

- ・「いつもしていることでも暴力になることがわかった。」
- ・「親が子にするDV（虐待）は知っていたけど、デートDVは初めて聞いたので今回の話は頭に残った。」
- ・「デートDVについて理解できた。これからの人との付き合い方について正しく知れた。お互いに尊重しあえるような関係のなることが大切だとわかった。」
- ・「身の周りには様々な人がいるので、しっかり、真剣に接していこうと思いました。また、私が人と関係を築く時には、しっかり人のことを考えられるよう、頑張ります。」
- ・「デートDVについてあまり知らなかったけど、嫌なことは嫌だと言っていいことがよくわかりました。いろんな人と真剣に向き合っていきたいです。」
- ・「暴力の種類は殴る、蹴るだけではなく、言葉や行動によっても暴力になることがわかった。今日学んだ事を忘れずにこれからの生活で気を付けたい。」
- ・「相手と自分とではたくさんの違いがあるけど、相手と自分の違いを理解して、気持ちよく生活できるように意識しようと思いました。相談することは勇気がいるけど、とても大切なことがわかりました。」
- ・「自分は一時期いじめを受けていて、いまだに前の出来事がフラッシュバックしたりします。自分よりももっと辛い人がいるのかもしれないと思いました。デートDVは怖いけど、今回いろいろ学ぶことができたので将来につなげていきたいと思いました。」
- ・「13人に1人LGBTの人がいるということにびっくりしました。これから向き合っていかなければいけないなと思いました。」
- ・「LGBTについてあらためて知った。自分が理解することが大事なんだなと思った。」

《 委員からの質問 》

竹原市の男女共同参画に関する年次報告

【総務課】

第2部 第2次たけはら男女共同参画プランの施策の実施状況

- (基本目標1) 男女共同参画社会に向けた意識づくり
(主要課題3) 教育における男女共同参画の推進
(2) 男女共同参画の視点に立った学習の推進

P18

(施策名) 人権啓発事業の推進

(施策内容) 公民館においては、定期講座開講式での講演会を中心に人権啓発事業として実施します。また、県主催の人権教育養成講座への参加を進め、指導者養成に努めます。

男女共同参画週間及びDV週間等において、啓発事業を推進します。また、人権フェスティバルにおいて男女共同参画関係のパネル展示等を行い、啓発に努めます。

関係課・室との連携を図り、人権や男女共同参画に関する出前講座等の推進に努めます。

男女共同参画の視点に立った人権行政を推進するため、男女共同参画に関する研修の場を設けるなどの取組を推進します。

質 問

- ①「男女共同参画担当課と連携し、主担者会議等で研修会を実施する」具体的な実施内容とアンケート実施をしていれば特徴的な意見などをお知らせください。

(回答)

○実施内容

令和元年11月14日に開催した竹原市人権啓発講座・竹原市男女共同参画推進啓発講座に主担者11名が参加して研修を行った。

○アンケートでの主な意見

- ・「講師の先生の経験から実例をもとに話をされたので説得力があった」
- ・「実データ値をもとに説明はより具体的で実情を知る上でよく理解できた」
- ・「たくさんの人に今日の講義を聞いていただきたい」
- ・「教員をしていて職場での性教育がとても重要だとすごく感じている。子どもたちへ伝え教えてやりたいが難しいのが今の教育現場です」

《 委員からの質問 》

竹原市の男女共同参画に関する年次報告

【健康福祉課】

第2部 第2次たけはら男女共同参画プランの施策の実施状況

(基本目標2) 人権を尊重し、生涯を通じて健康に暮らせるまちづくり

(主要課題2) 生涯を通じた健康づくりの支援

(2) 妊娠・出産期における女性の健康と安全への支援

P22 (上から4つ目)

(施策名) 産科医療への支援

(施策内容) 妊婦に対する支援を図りつつ、産科医療の支援策を検討します。

質 問

①妊婦健康診査支援事業および妊婦健康診査運営費の具体的な報告をお願いします。

P23 (上から3つ目)

(施策名) たけはらっこネウボラ(子育て世代包括支援センター)の実施【新規】

(施策内容) 妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的な相談支援を行います。

質 問

②支援ニーズの高い妊産婦への支援の実施について支援件数と主な内容をお知らせください。

(回答)

① 妊婦健康診査支援事業及び妊婦健康診査運営費について

○ 妊婦健康診査支援事業

妊婦と胎児の健康増進を図るため、妊婦一般健康診査受診者に対し、健診1回につき2,000円の奨励金(支給限度額28,000円)を、申請に基づき支給しております。

平成30年度実績 95人

○ 妊産婦健康診査運営費

平成28年度から安田病院にて、妊婦健康診査を実施しています。

開設初年度は、施設整備費と運営費を、以後運営費を補助しております。

運営費 年84万円

平成30年度実績 妊婦健康診査受診者 実人員7人(延べ34回)

子宮頸がん検診128人、婦人科診察 199人

② 支援ニーズの高い妊産婦への支援の実施について支援件数と主な内容

母子健康手帳交付から出産まで、面接や電話等で一人の妊婦につき5回支援しています。

平成30年度は、若年妊婦等の支援ニーズの高い妊産婦は11件あり、妊産婦の心身の状態や育児サポートの有無等を包括的に判断し、個々に応じた回数及び時期で継続的な支援を実施しています。